

SAPIX	4年							
	算数							
学習内容	7月の学習内容 18回『過不足算』 19回『場合の数（2）』 夏期講習1回『平面図形（1）』							
家庭学習ポイント	第14回「過不足算」では、過不足算の基本から様々なパターンの問題を学習します。配る数によって「あまる」「不足する」「ちょうど」の3つの場合が考えられますが、どの組み合わせの場合も確実に問題に対応するには、丸覚えではいけません。2つの配り方の「違い」を考えるのですが、「あまる」場合と「不足する」場合ではその差はあまりと不足の合計であることをしっかり理解しておく必要があります。長椅子の問題には注意が必要です。 「椅子が足りない」という場合には「座る人が不足している」と考え、「椅子が足りない」場合は「座る人が余っている」と考えましょう。場合の数では順列、組み合わせについて、まずは樹形図を基本に、そこから計算を利用することによって求める方法を学びます。校舎によっては7月末から夏期講習が始まりますが、第1回は「平面図形（1）」となります。角度の基本～三角形の内角、外角、そして図形の折り返しと角について学習します。春、そして春期講習会で学習した内容に復習になります。春に学習したときに不安があったお子さんは、この機会にしっかり理解を深めておきたいですね。							
課題の把握と解決策	チェック1	過不足算を考える際、書き出して整理して解いていますか？						チェック
	解決策	いつも同じ形に整理する習慣をつけることが大切です						□
	チェック2	過不足算を「公式」だけで処理していませんか？						チェック
	解決策	「あまり－あまり」「あまる＋不足」と丸覚えするのがもっとも危険です						□
	チェック3	「場合の数」で正しく樹形図を書けていますか？						チェック
	解決策	樹形図を正しく書くことで「計算で考えられる」ことに気づくことが大切です						□
	チェック4	三角形ができるときの3辺の長さの組み合わせを正しく理解していますか？						チェック
	解決策	「短い2辺の長さの合計＞一番長い辺の長さ」をしっかりと理解しておくことが重要です						□
	チェック5	図形の折返しに関して着目点がわかっていますか？						チェック
	解決策	「折り返す前と後の図形は合同（角度が等しい）」を利用することが大切です						□
SAPIX	4年							
	国語							
学習内容	7月の学習内容 18回 コトノハ／星に願いを 物語文 19回 コトノハ／コノハチョウ 説明文 夏期講習1回 物語文							
家庭学習ポイント	18回は夏ということで「星に願いを」というテーマです。先月もお伝えしましたが、この時期に「読んで内容がわかる」だけではなくA授業の「読解メソッド」やB授業の記述を活用する習慣をつけることが、高学年の国語の実威力につながります。B授業で扱うのは物語文です。第19回のテーマは「コノハチョウ」です。日本国内では沖縄本島、沖永良部島、石垣島、西表島、徳之島などの南西諸島の島々にしか分布していないチョウですね。B授業も説明文です。特に説明文では問題、解答だけでなく解説、そして「内容を整理しよう」「正しい形に直してみよう」「作文力アップ」までしっかり活用するようにしましょう。4年生のうちにこの習慣をつけることで、国語の学習の「型」が身についていきます。夏期講習に入るとBテキストのみになり、短期間で授業回数が増えますから、復習のサイクルが破綻しないように注意しましょう。							
課題の把握と解決策	チェック1	A授業「読解メソッド」の解説を活用できていますか？						チェック
	解決策	自分なりに考えて解くことも大切ですが、解説の赤字も読んで参考にしてみましょう						□
	チェック2	A授業「知識の学習」は毎回コツコツとやれていますか？						チェック
	解決策	家庭学習では再度、説明部分から読んでみるのが重要です						□
	チェック3	物語文を読んで「テーマ」が答えられますか？						チェック
	解決策	読解ではつねに「●●という話」と簡潔に言い表すとどうなるかをお子さんに質問してみましょう						□
	チェック4	説明文では「論旨」をつかめていますか？						チェック
	解決策	「作者の一番言いたかったことは？」とお子さんに問いかけてみましょう						□
	チェック5	夏休みの復習サイクルをイメージできていますか？						チェック
	解決策	特に国語（と算数）は授業回数が多く、復習がまわらないという状況になりがちです						□

SAPIX	4年						
	理科						
学習内容	7月の学習内容 18回『命のつながり』 19回『植物の生きのこり戦略』 夏期講習1回『「変」なむし』						
家庭学習ポイント	18回で「命のつながり」では身近な野菜、果物の「どの部分を食べているか」や種子の運ばれ方などから始まり、サツマイモとじゃがいもの違いと共通点などについても学習します。化学や物理と違って生活に密着した話題ではありますが、実は入試にも頻出の事項です。動物の増え方では、ニワトリとメダカの増え方の違いと共通点について学習します。一部のプランクトンのように「分裂」して増えるのではなく「生殖」によって増えるのがオス、メスの区別がある動物の特徴ですね。ニワトリとメダカの卵は大きさや様子（からのある無しなど）が随分違いますが、卵単体に含まれる養分（卵黄）を使って発生していくことについては共通ですね。哺乳類との違いをしっかりと理解しておくことが大切です。19回「植物の生きのこり戦略」では単子葉植物と双子葉植物、葉のつくり、蒸散作用についても学習します。蒸散作用では計算問題も出てきますね。与えられた条件と結果を表に書き出して比較する考え方は「定番」であり、今後6年生～入試問題まで同様の考え方を続けていくことになります。夏期講習1回「変なむし」では昆虫について学習します。体のつくり、育ち方（完全変態・不完全変態・無変態）、冬越しなどが特に重要です。						
課題の把握と解決策	チェック1	植物の「どこを食べているか」ふだんから意識していますか？					チェック
	解決策	一緒に買い物に行って観察するなど、実体験を積ませてみましょう					□
	チェック2	メダカの卵の変化を実際に見たことがありますか？					チェック
	解決策	映像などでいいのでお子さんに確認させてあげてください					□
	チェック3	双子葉植物と単子葉植物、主なものを答えられますか？					チェック
	解決策	単子葉植物のほうが少ないグループなので、イネ科やユリ科、アヤメ科など覚えておきましょう					□
	チェック4	蒸散作用の計算問題を正しく解くことができますか？					チェック
	解決策	つねに「茎・葉の表・葉の裏・水面」と水が蒸発する部分を表に書き出すことが重要です					□
	チェック5	デイリーサピックスの「季節の図鑑」を親子で読んでいますか？					チェック
	解決策	成績がいいお子さんはだいたい読んでいるのが「季節の図鑑」です					□
SAPIX	4年						
	社会						
学習内容	7月の学習内容 18回 地形と気候（8）～九州地方～ 19回 わたしたちの国・日本～日本の国土～ 夏期講習1回 北海道の旅						
家庭学習ポイント	18回では九州地方の地形と気候について学習します。地方別地理の学習は5月から続いています。そろそろ学習のしかたが身についてきたでしょうか。必ず地図帳、白地図を併用し、自分で主な山地や河川、平野などのいちを確認しながら学習を進めていきましょう。上記以外では火山では阿蘇山や雲仙岳、交通機関では九州新幹線などを押さえておくことも重要です。農林水産業では有明海ののり・干拓、大村湾の真珠、八代平野のいぐさ、宮崎平野の促成栽培（ピーマン）、シラス台地の畜産・さつまいもなど。 そして「ソシオスコープ」「みどり先生のもっと知りたい」などを活用することも大切です。19回では日本の国土についてあらためてまとめます。世界の中での日本の位置、面積や人口、そして産地が多く森林が豊かな国土について理解を深めましょう。夏期講習では日本の地方別地理について、もう一度丁寧に学びなおしていきます。第1回は北海道地方についてです。4年生では様々な角度から地理分野の勉強を丁寧に深めていきますので、この学年のうちに地理の学習の「型」をしっかりと身につけてしまいましょう。						
課題の把握と解決策	チェック1	奄美大島がどの都道府県に含まれるか答えられますか？					チェック
	解決策	鹿児島県に所属しています					□
	チェック2	雨温図を見て、大体どの都市のものか判別できますか？					チェック
	解決策	九州地方の太平洋側は黒潮の影響で平均気温が高いのも特徴ですね					□
	チェック3	「ソシオ博物館」をしっかりと読んでから学習に取り組んでいますか？					チェック
	解決策	その地方の概要をわかりやすく図解しています					□
	チェック4	日本の面積、人口を答えられますか？					チェック
	解決策	面積は38万km2、人口は約1億2700万人です					□
	チェック5	夏期講習テキストでは「ソシオスコープ探偵団」活用していますか？					チェック
	解決策	楽しみながら理解を深められる工夫が凝らされています					□